鷹陵同窓会会長　祝辞

京都でも爽やかな秋の気配が感じられる今日この頃です。

学位記、卒業証書、修了証書を手にされました皆様、まことにおめでとうございます。晴れの日を迎えられ、感慨もひとしおのことと存じます。本日ここに、９１名の新しい鷹陵同窓会の仲間をお迎えできました。嬉しく、また、ありがたく思います。鷹陵同窓会を代表して、皆様のこれまでのご努力に対して敬意を表し、心よりお祝いを申し上げます。

また、通学課程を卒業されました皆様、おめでとうございます。同じ佛教大学の卒業生として、この後もご縁をいただければ幸いに存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

皆様には入学以来今日まで、学習することの多くの喜びや苦しみを体験され、あるいは様々な学習環境の障害も多く、心穏やかでない日々も多かったこととお察しいたします。

このような苦楽を全て乗り越えて迎えた、今日のよき日の想いを、これまで皆様を支えてくださったご家族や、学友、周りの方々とともに分かち合っていただきたいと思います。

皆様には、現在のお仕事に関わってさらに専門知識を深めたいと学ばれた方も多いと思います。お仕事の場でますます力を発揮して活躍されることを願っております。

また、是非とも鷹陵同窓会にご入会くださいまして、新しい風を吹き込んでくださいますようお願いいたします。

鷹陵同窓会の魅力は、皆様と同様に仕事をされながら更なる資格を目指し、また、教養を高めるために学ばれた方々、それぞれ職業が異なり、年齢的にも生活歴においても、幅が広く経験豊富、且つ優秀な卒業生の集まりです。

人との出逢いは何かを生み出します。また、出逢いはあなたを広く深く成長させてくれます事を信じて積極的にご参加ください。

私たちが学んだこの紫野キャンパスは、今、新しい形に生まれかわろうとしており、大学のシンボルとなる礼拝堂の完成を待つのみとお聞きしています。

そこは、「心のふるさと」として、私たち卒業生にとっても心落ち着ける場所になるものと思っております。その「心のふるさと佛教大学」で、ご縁の糸で結ばれた皆様と、またお目にかかる機会をもてましたら、ありがたいことと願っております。

最後に、今日のよき日に皆様に私の座右の銘である、「我以外皆師」、自分以外は皆善き師という言葉をおくります。

皆様がますますご健勝でご活躍されますことを祈念し、併せて母校のさらなる発展を願って、お祝いのことばといたします。

平成２８年９月２５日

佛教大学鷹陵同窓会
会長　瀧内　邦男